

<白金標準、商品相場は「需給に勝るものなし」・・・>



(出所：オアシス)

ロンドン・プラチナウィークの開催で JM 社は「PGM マーケットレポート」を発表している。プラチナ需給予想では、2023 年の 16 トンの供給不足に続き、2024 年も 18.6 トンと過去 10 年間で最大の供給不足を予想している。特に 26 日に BHP がアングロ・アメリカを 6 兆円で買収を提案して以降、白金標準先物はアングロ・アメリカ・プラチナのスピノフを受け年間 54 トンのプラチナ生産の懸念から 4800 円を回復すると JM 社の供給不足を受けて 4900 円を超え、中国国内の主要 2 都市が居住用不動産の購入制限を撤廃、住宅購入希望者に対して資格審査を行わない方針を打ち出し、銅需要の期待から銅価格が大きく反発し、白金標準先物も 2014 年 7 月以来の 4987 円まで高値を試している。

特に今週 13 日に WPIC 第 1 四半期 PGM 需給報告が予定されており、JM 社の供給不足の予想から WPIC も前回の 13 トンの供給不足予想が増加する確率が高いと思え、WPIC を受けて 5000 円を試す値動きに思われる。しかし需給要因が出尽くす事から、発表以降の調整安には注意が必要と思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** は上昇し、**シグナル** も上昇を示している。RCI は**短期**が+92%で維持し、**中期**が上昇を続けられるなど基調は強気の継続を示唆していると思え、安易な売り狙いは避けた方が妥当と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,445,000 円(2024 年 5 月 13 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2024 年 5 月 13 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>